

外科・外科の4診療科を担当しておりますが、この度、永年、勤務されました石橋内科医師が本年度3月末をもちまして退任されます。

当診療所は町立の診療所として、地域に根づいた医療と保健・福祉との連携による予防事業を推進して行く上において、果たすべき役割は重要と考えておりますが、近年、特に厳しくなっている地域の一次医療機関における医師の確保等、医療の運営環境の中で、公共の福祉の増進と効率的な運営をより強く推し進めて行かなければならないことから、地域医療に関心が高く、率先して取り組んでいただける医師招聘について関係機関への照会等、協議を重ねてまいりましたところ、この度、道東の自治体病院に勤務されている内科医師との交渉がまとまり、当診療所に就任されることになりましたので、ご報告いたします。

内科医師としてお迎えする先生は、現在、広尾郡大樹町の国保病院に勤務されている梅津知文（うめつともふみ）先生であります。

梅津先生は、道立札幌医科大学卒業後、同大病院にて臨床、研究に従事し、主に腫瘍・血液・消化器科を専攻した後、留萌市立病院をはじめ、広尾町立国保病院、そして大樹

基づき、レ・コード館の音楽推進計画の反省を行い、更に啓発・情報発信を行い、町民のネットワーク形成により住民が元氣の出る事業を展開したいものと考えます。

近年、情報公開と説明責任が求められています。

そのためにも中長期的な見通しを展望しつつ、短期間の評価を繰返し、改善を重ねていくことが大切と考えます。

最後に地方分権一括法の成立のもとで、自ら考え・自ら行動する教育委員会として、住民の福祉のために二一歩を踏まえ必要な論議については、しっかりと深め、新冠町の町づくり・人づくりのために貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育の推進

はじめに「教育委員の活動」についてですが、今年度の教育委員の研修として11月8日に三笠市で開催された「小中一貫教育公開研究大会」に参加し、小学生と中学生が同じ教室で授業を受ける合同授業や小学校教師が中学生を指導する交換授業など、本町における小中一貫教育の可能性について研修を行ないまし

町立国保病院に勤務されております。現在の太樹町立国保病院には、12月まで勤務した後、直ちに当町に転居し、1月から診療を開始する予定であります。

梅津先生の着任によりまして、内科医師体制は3月までの間、2名体制から3名体制となりますが、今後においても全職員一丸となって、一次医療機関である町立の診療所として良質な医療を提供し、みなさんから信頼される診療所運営に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育長行政報告

はじめに、私は、9月24日に開催された第3回定例会におきまして教育委員として任命同意をいただき、10月18日開催の第9回教育委員会におきまして、辻本前教育長の後任として教育長に選任をいただいたところであります。

昨今、教育委員会は不要であるとの意見がございます。新冠町の答えは必要です。

あえて申し上げますと、新冠町教育委員会はこの長い歴史の中で、平成19年新冠中学校のTT事件以来、

た。

また、11月20日には、今年度から、中学校において実施した、武道の授業の様子を参観し、柔道の安全性について理解を深め、今後の取組について指導助言をいたしました。

さらに、各校の行事等にも積極的に参加し、学校の実態を踏まえた教育委員の活動を展開してきています。

確かな学力の育成

1つ目は、新冠中学校の公開授業研究会の開催についてであります。

これは、道教委の地域連携研修事業の指定を受けて行うものであり、教員の指導力の向上への重要な取組である公開研究会が、12月6日に開催されました。

「生徒が互いに学び合う授業と支え合う学級づくり」を研究主題に、1年生では技術、2年生では数学、3年生では理科の授業が行われ、生徒一人ひとりの主体的な活動を展開する授業となりました。

管内の教育関係者はもとより保護者、地域の方々の参観もあり、新冠中学校全職員一丸となつて創り上げた取組に高い評価が与えられ、開かれた学校、信頼される学校作りに向けて大きな一歩を進めることができ

これを機会に全力を挙げて信頼回復と教育内容の充実と真剣に取り組みでまいりました。

小学校の統合による学習環境の整備、家庭教育支援としての幼保一元化を目指したド・レ・ミの開設、ICTをはじめとする教育環境の整備、図書の実質、特別支援教育支援員の配置、教職員のミニ研修を始めとする研修に務め、何よりも事務の執行状況の点検・評価を行い、公表してまいりました。

このことは、小林委員長を先頭に辻本前教育長を中心とした素晴らしい体制があったからこそできたものと私は確信しております。

さて、今後の新冠町の教育行政の執行に当たりましては、年度途中で教育長が変わるといふこととありますが、本町としては平成24年度教育行政執行方針を着実に進めることが肝要と考えているところであります。

《学校教育》

学校教育では小中3校とド・レ・ミを加えた4校園体制を維持し、内容の改善・充実に努めること。「オール新冠」を目指して、校種間の接続の緊密化を図り、質的な充実を進めることとす。

ました。

また、12月3日には、新冠町教育研究協議会の第2次研究会が開催され、道徳部会をはじめとする授業公開があり、学力向上や命を大切にする指導方法等の研究協議が深められました。

教育委員会としましては、今後ともこのような教職員の研修が充実、継続されるよう、支援して参ります。

《学校訪問》

2つ目は、日高教育局の指導主事による学校訪問についてであります。

新冠小学校は10月4日、朝日小学校は11月8日、新冠中学校は12月6日に実施され、全体研修においては、指導技術向上に向けた取組と、各校の研究課題に即した研修など学校の抱える研修課題解決に向け、指導主事を有効に活用した研修活動が実施されました。

豊かな心身の育成

新冠小学校では10月19日に学習発表会が、朝日小学校では10月20日に学芸会が行われました。

「新冠遺産」についての研究発表や「生きる」ことの構成劇など工夫された内容でした。

また、新冠中学校では、10月4日、5日の両日、学校祭が行われ、第2

《こども園ド・レ・ミ》

平成23年度の開設以来、園長をはじめとする職員の努力により、予定より早いスピードで進み、ソフト面・運営面においても土台作りが完成しつつあります。あともう1〜2年で保育所から幼稚園への完全移行が完了するものと思われまます。

そのため、さらに職員の研修を深め、指導力の向上を図り、子育て支援としての機能を大いに発揮していきたいものと考えます。



▲認定こども園ド・レ・ミの様子

《社会教育》

現在の第6次新冠町社会教育中期計画は、平成23年から27年までの5か年計画であります。2年次に当たる今年度は、PDCAサイクルに

日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、真剣な表情に對し来場頂いた多くの保護者や地域の方々からあたたかい声援を受けておりました。



▲10月19日に行われた新冠小学校学習発表会

また、キャリア教育については、11月14日に3年生全員が23事業所において職場体験を行うなど、将来の職業や自らの生き方について考える貴重な取組を進めました。

次に臨時休校についてであります。11月27日、発達した低気圧に伴う暴風により、小中学校及び認定こども園ド・レ・ミを臨時休校いたしました。

当日は、前夜からの強風が未明頃